



はたらくるま

CATCH THE WORKING CAR!!

そのじゅうはち
グラッとくる
その前に!

地震体験車

じしんたいけんしゃ

(起震車) きしんしゃ



「近い将来南海沖地震が来る」といって、ずいぶん云われてるけど実際にはピンと来ない人も多いみたいですね。そんな人にも地震を体験させてくれるのが「地震体験車(起震車)」だ。

この起震車は日野レンジャーの4トン車をベースに、横浜市のアスカアイテック社が架装した特注車で、全長約7.50m、重量約7.8トン、6.4Lのディーゼルエンジンを搭載している。

初代の起震車の老朽化に伴い今年の2月に導入されたばかりのピッカピカの1年生なのだ。地震を体験する部屋は、約4.5平方メートル(約2.7畳)で、テーブルと4脚の椅子、訓練用に模擬ガスコンロが置かれている。(テーブルだけは固定されている)初代の「縦横方向の揺れ」に加えて「左右の揺れ」も加

わり、タイプの違う地震の揺れを何種類も体験できるようになっている。

高知県消防学校の管理で、県下の学校や自主防災組織、イベントなどに貸し出され、多くの人に地震の怖さを体験してもらうために利用される事になっている。見かける事があつたら是非体験して自分の地震対策を充実させて欲しい。



備えは
できてますか?!



【地震体験車(起震車)】
日野 BDG-FC7JHWA/
エンジン-J07E 6.4Lディーゼル●架装部分 (株)アスカアイテック社製

アツという間に準備完了!



サイドのウイング扉は油圧電動で開閉する。

これらから県下各地を回る起震車は担当者が見やすいようにコンパクト・機能的にできている。

走行状態から体験準備完了までアツという間だ。

乗り込むためのハンゴだけは人力で確認しながら行う。

内蔵のエンジンで発電機を動かすため、外部からの電源がなくてもOK



起震は車体とは別のエンジンで発電された電気で駆動される。そのための装置の操作パネルは複雑。



起震部分までの高さは約1.5メートル。階段で乗り込むのだ。



部屋には震度を表すモニターがあつて、体感震度を確認できる。



体験する部屋には説明用のモニターが設置されている。

消火訓練にも使用される模擬ガスコンロも設置されている。

取材協力

高知県消防学校
吾川郡いの町大内2030
TEL 088-892-0087

香南市役所 防災対策課
香南市野市町西野2706
TEL 0887-57-8501